

蚊の対策をバスと地下鉄で呼びかけます

今年の夏も 蚊を増やさない！蚊に刺されない！



デング熱やジカウイルス感染症は、東南アジアや中南米など海外の熱帯・亜熱帯地域で流行が続いています。これらの蚊がうつす感染症の予防や拡大防止のために大切な「蚊を増やさない・蚊に刺されない」ことを、今年も市民の皆さまに気をつけていただけるよう、市営バスと地下鉄で呼びかけます。

1 ラッピングバスが6月5日（月）から市内を走行します！

- ◎ 掲出路線 横浜市営バス浅間町営業所系統（中区・西区・保土ヶ谷区周辺）
- ◎ 掲出台数 3台
- ◎ 掲出期間 6月5日（月）から7月4日（火）



【図1 ラッピング車両（イメージ）】

2 市営地下鉄（ブルーライン）車内のドア横にポスターを掲示します！

- ◎ 掲示路線 横浜市営地下鉄ブルーライン（あざみ野駅～湘南台駅）
- ◎ 掲示場所 ドア横 144 か所
- ◎ 掲示期間 6月16日（金）から6月22日（木）



【図2 掲示ポスター】

《裏面あり》



3 今年も蚊の生息調査とウイルス検査を実施します

昨年度に引き続き、市内の公園や港湾地区 25 か所で蚊の生息数やウイルス保有の有無等を調査します。観光客の訪問やイベント開催が多い公園等 6 か所（山下公園、臨港パーク、横浜公園、港の見える丘公園など）については、5月中旬から調査を開始しています。その他 19 か所は6月から調査を始めます。

(1) モニタリング調査の概要

ア 実施時期及び回数

6月上旬から10月下旬 10回実施（月2回）（6か所のみ5月中旬から12回）

イ 調査場所（25か所） ※…5月中旬から調査開始

鶴見区	大黒中央公園	保土ヶ谷区	陣ヶ下溪谷公園
	馬場花木園	旭区	こども自然公園
神奈川区	三ツ沢公園	磯子区	坪呑公園
西区	掃部山公園	金沢区	海の公園
	臨港パーク ※	港北区	大倉山公園
中区	山下公園 ※	緑区	北八朔公園
	横浜公園 ※	青葉区	桜台公園
	港の見える丘公園 ※	都筑区	都筑中央公園
	根岸森林公園 ※	戸塚区	舞岡公園
	シンボルタワー	栄区	本郷ふじやま公園
南区	蒔田の森公園	泉区	泉中央公園
港南区	久良岐公園	瀬谷区	二ツ橋南公園
	日野公園墓地 ※		

ウ 実施方法

(ア) CDCライトトラップ法（25か所すべてで実施）

二酸化炭素で蚊をおびき寄せるトラップを設置し、蚊を捕獲する方法です。公園等内1か所に、午後から翌日午前中まで設置します。

(イ) 人^{ひと}囮法（山下公園のみ実施）

調査者が8分間立ち、捕虫網を足元で振って蚊を採取する方法です。

(2) 調査結果について

調査結果は、横浜市衛生研究所ホームページ上で公表します。

お問合せ先			
蚊媒介感染症に関すること	健康福祉局健康安全課長	木村 博和	Tel 045-671-2442
蚊に関すること	健康福祉局生活衛生課長	佐藤 昌子	Tel 045-671-3608
調査・検査に関すること	衛生研究所微生物検査研究課長	笹尾 忠由	Tel 045-370-9612